

各位

謹んで、熊本で発生致しました地震により被害を受けられた方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方のご冥福と関係者の方にお悔やみ申し上げます。

震災後、多くのお客様とお取引先様より、多大なご心配、ご声援、人的支援のお申し出、お見舞い等を頂いております。この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

まだ若干の余震は続いておりますが、弊社・熊本工場につきまして、今回の震災の最終のご報告をさせていただきます。

4月25日までに全設備の稼働確認が完了し、本格稼働に入りました。一部損壊した設備に関しましては、機械メーカーに発注が済み、3ヶ月以内に入荷予定です。また、稼働不可の設備に関しましては大阪本社工場にて生産調整済みです。

工場建屋に関しましては、一部の壁の崩落・水道管の破損等、修繕できていない箇所がございますが生産に大きな影響はございません。今後、緊急に修繕が必要な他の被災された方々に配慮しながら、修繕を進めてまいります。

人員に関しましては、以前よりご報告しております通り、全員の無事は確認できておりますが、未だ避難所生活や親族の家から通勤が続いている従業員が数名おります。そのような状況下ではありますが、連休明けには全員が顔を揃えることとなります。

私どもは連休明けから以前と同じように営業活動ができることとなります。ただ、心痛ましいことではございますが、大切なお客様の従業員の方がお亡くなりになりました。平素より格別のご愛顧を頂いているお客様の訃報に、私たちも痛恨の思いでございます。お亡くなりになられた方のご冥福を心よりお祈りし、またそのご家族にお悔やみ申しあげます。

益城町という被災地域にありながら、これほど迅速に通常営業が可能となりましたのは、ひとえに皆様のお蔭と心より感謝しております。

今回の震災で、改めまして我々の会社は皆様に生かされているのだと実感しております。この御恩を少しでもお返しできるよう、心を改めまして業務に勤しんでまいります。

以上、簡単ですが、今回の震災につきましての最終報告をさせていただきます。  
ありがとうございました。

2016年4月28日  
三協精器工業株式会社  
取締役社長 赤松賢介  
株式会社熊本三協スプリング  
取締役社長 黒嶋康朗  
両社 従業員一同